

(第1面)

<p>産業廃棄物処理計画書</p> <p>2024年 6月 25日</p> <p>京都市長宛</p> <p>提出者</p> <p>住所 京都市左京区岩倉南池田町77番地</p> <p>氏名 株式会社沖潮開発</p> <p>代表取締役 沖潮 吉績</p> <p>(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)</p> <p>電話番号 075-701-7713</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	株式会社 沖潮開発 (市内一円の工事現場)
事業場の所在地	京都市左京区岩倉南池田町77番地
計画期間	2024年4月1日 ~ 2025年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	07 職別工事業 (設備工事業を除く)
②事業の規模	187百万円
③従業員数	37名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	解体 → 分別 → ダンプに積込み → 収集運搬 → (委託処理) 中間処理施設 又は 最終処分施設

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項							
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>(管理体制図)</p> <pre> graph TD A[代表取締役社長] --> B[取締役部長 廃棄物担当役員] B --> C[営業部 廃棄物管理担当者] B --> D[事務部 廃棄物管理担当者] </pre> </div>							
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項							
①現状	<p style="text-align: center;">【前年度（ 年度）実績】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; padding: 5px;">産業廃棄物の種類</td> <td style="width: 40%; text-align: center; padding: 5px;">別紙集計用シートのとおり</td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">排 出 量</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">別紙集計用シートのとおり</td> <td style="text-align: right; padding: 5px;">t</td> </tr> </table>	産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり		排 出 量	別紙集計用シートのとおり	t
	産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり					
	排 出 量	別紙集計用シートのとおり	t				
	<p>(これまでに実施した取組)</p> <p>現場作業員の分別処理の周知徹底、教育をしている。 現場にて可能な限り、廃棄物の再生可能なものの仕分け作業を徹底している。</p>						
②計画	<p style="text-align: center;">【目標】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; padding: 5px;">産業廃棄物の種類</td> <td style="width: 40%; text-align: center; padding: 5px;">別紙集計用シートのとおり</td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">排 出 量</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">別紙集計用シートのとおり</td> <td style="text-align: right; padding: 5px;">t</td> </tr> </table>	産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり		排 出 量	別紙集計用シートのとおり	t
	産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり					
	排 出 量	別紙集計用シートのとおり	t				
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>これまでと同様の取り組みを継続して実施する。</p>						
産業廃棄物の分別に関する事項							
①現状	<p>(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <p>コンクリートがら、アスファルトコンクリートがら、その他がれき類、ガラス・陶磁器くず、廃プラスチック、金属くず、木くず、繊維くず、廃石膏ボード、混合廃棄物（管理型含む）、混合廃棄物（安定型）、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物、廃石綿</p>						
②計画	<p>(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <p>これまでと同様の取り組みを継続して実施する。</p>						

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組) 委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施している。 委託処理業者には定期的に現地確認を実施している。			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) これまでと同様の取り組みを継続して実施する。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書の〔集計用シート〕

・下表にない種類の産業廃棄物については、「産業廃棄物の種類」欄に、品目名を記載してください。
 ・行が不足すれば、適宜追加してください。

産業廃棄物の種類	① 排出量(t)		② 直接及び自ら自己処理した後の処理委託量(t)		④ ①-②-③-④+⑥-⑧-⑨ = ⑩+⑪+⑫+⑬+⑭										②+⑧自ら再生利用を行った量(t)		③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量(t)	
					委託先による区分				⑦ 優良認定処理業者への処理委託量(t)									
					⑩ 再生利用業者への処理委託量(t)		⑪ 熱回収認定業者への処理委託量(t)		⑫ 熱回収認定業者以外の熱回収業者への処理委託量(t)		⑬ その他の中間処理委託量(t)		⑭ 埋立処分委託量(t)					
法で定められている種類(シュレッダーダストなど、一体不可分のものについては、空欄行に記載してください。)	当該事業場において生じた産業廃棄物の種類ごとの量	中間処理及び最終処分を委託した量	⑩の量のうち、処理業者への再生利用委託量(⑬、⑭除く)	⑪の量のうち、認定熱回収施設設置者である処理業者への焼却処理委託量	⑫の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量	⑬の量のうち、委託して破砕等の中間処理した量(⑬～⑭を除く)	⑭の量のうち、直接委託して埋立て最終処分した量	⑦の量のうち、優良認定処理業者への委託処理量	②の量と⑧の量を合計したものと(自動計算)	③の量と⑨の量を合計したものと(自動計算)								
	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標
燃え殻															0	0	0	0
汚泥															0	0	0	0
廃油															0	0	0	0
廃酸															0	0	0	0
廃アルカリ															0	0	0	0
廃プラスチック類	20	20	20	20							20	20			0	0	0	0
ゴムくず															0	0	0	0
金属くず															0	0	0	0
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	85	85	85	85							85	85			0	0	0	0
紙くず															0	0	0	0
がれき類	6,734	6,720	6,734	6,720	6,665	6,660					69	60			0	0	0	0
ばいじん															0	0	0	0
紙くず															0	0	0	0
木くず	225	225	225	225	225	225									0	0	0	0
繊維くず	4	4	4	4	4	4									0	0	0	0
動植物性残渣															0	0	0	0
動物系固形不要物															0	0	0	0
石綿含有産業廃棄物	24	24	24	24									24	24	24	24	0	0
廃石膏ボード	62	62	62	62							62	62			0	0	0	0
混合廃棄物(安定型)															0	0	0	0
混合廃棄物(管理型)	143	143	143	143							143	143			0	0	0	0
水銀使用製品産業廃棄物(蛍光灯)	4	4	4	4							4	4			0	0	0	0
															0	0	0	0
合計	7,301	7,287	7,301	7,287	6,894	6,889	0	0	0	0	383	374	24	24	24	24	0	0

(注1)トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。